

この秋、島根県立美術館で当館所蔵作品による展覧会の開催が決定しました。

現在、当館で開催中の「棟方志功 祈りと旅」展は、東日本大震災の影響で開催を中止した「プーシキン美術館展」に代えて開催することになったことをご存じのとおりです。震災の影響は、全国各地の美術館に及んでいて、島根県立美術館でも、予定していた「マルセイユ美術館展」が震災の影響で開催できなくなりました。そこで、当館のコレクションによる展覧会を急遽準備し、震災復興支援として開催していただくことになりました。

内容は、ピカソ、マティス、ボナールといったフランス近代の美術と、フランス美術に憧れ、その影響を受けた黒田清輝や安井曾太郎など洋画家たちの作品をまとめたかたちでご紹介するものです。この展覧会では、復興支援のためのチャリティーグッズの販売なども行われます。

宍道湖畔にたつ島根県立美術館で、当館の作品たちが、また、新しい魅力を発揮してくれると思います。この秋には、ぜひ島根県立美術館にお出かけください。

ところで、島根県立美術館は3月から9月の間、閉館時間が日没後30分というユニークな美術館です。(展示室入場は日没時刻まで)

下の写真のように宍道湖に沈む夕日はとても素敵です！！



↑ 島根県立美術館 外観



↑ 島根県立美術館内から 宍道湖に沈む夕日

(もっと写真をご覧になりたい方は島根県立美術館の[フォトアルバム](#)へ)

日没後30分という閉館時間をぜひ体験してみてください。

島根県立美術館のホームページには日没時刻も載っています！

10月から2月の閉館時間は18時30分です。(展示室入場は18時まで)

(M.M. / Y.H.)